

WEST UNION
WEST UNION
第406号
2023年4月24日

J R よなご
西労組 west japan railway trade union - YONAGO

西日本旅客鉄道労働組合
米子地方本部
発行責任者 大川 達也
編集責任者 高真 靖幸

後藤労災献花行動

事故を決して忘れず、二度と発生させない思いを胸に。

〈事故の概況〉

後藤総合車両所において後藤工業労働組合員が犠牲となる死亡労災事故から12年が経過しました。4月6日(木)、車両所にある「安全考動室」において、中央本部から上村委員長、白壁副委員長、田中伸部長、JR西日本連合の後藤工業労働組合・中国メンテック労働組・山陰開発労組の代表者らと共に追悼献花を行い、お亡くなりになった仲間の御霊に哀悼の誠を捧げるとともに、事故の再発防止と風化防止を誓いました。

献花後、会場を米子コンベンションセンターに移し、JR西日本連合「安全ディスプレイカッション」を実施し、各グループ労組の役員と意見交換を実施しました。

2011年4月7日(木)午後10時10分頃、米子線米子駅ホームに停車中の列車が、乗客を乗せたまま、ホームの側面から落下した。乗客1名が死亡し、1名が重傷を負った。原因は、列車の側面から落下した乗客が、ホームの側面に倒れたことによるものと見られる。



後藤総合車両所での献花再発防止・風化防止を誓う。



当時の事故現場の設備。現在、操縦席は撤去されています。



ユニオンスクール ML組合員コース 開催

4月8日(土)に米子コンベンションセンターにて、ユニオンスクール「M・L組合員コース」を開催しました。各支部から選出した13名のML組合員が参加した。大川委員長による特別講話では、春闘や組合の歴史について学び、柳谷教育部長によるディスプレイカッション見直しなどを行いました。非常にとりくみ、職場での自身の役割を改めて考えさせられた。

春闘報告集会



4月13日(木)に米子コンベンションセンターにて2023春闘報告集会を開催し、各支部・分会の代表者と春闘の総括を行った。開会に先立ち、大川委員長より挨拶を行い、第20回統一地方選挙への取組みについて、2023春闘への取組みについて、2023春闘への感謝が伝えられた。中央本部から羽野書記長、川畑財政・政策部長、小西池組織・業務部長にお越し頂き、交渉経過や今回の成果・課題について報告を受けました。はじめに、羽野書記長より挨拶があり、安全について、ハラスメント防止について、現在の会社の経営状況について、2023春闘交渉についてについて説明があった。川畑部長から春闘の妥結内容について質疑は、景気は回復しつつあると感じるが、妥結内容に納得できていない組合員もいる。多くのプロジェクトがあり、組合員のがんばりに応えるためにも一時金を！ エリア手当の撤廃または改善を！ ようやく現場に光があたりだした。しかし、離職者への対応が遅いのでは。組合として経費削減し組合費を下げよう。組合として経費削減の意見と中央闘争委員会への感謝が伝えられた。切実な意見と不安を中央本部・地方本部も受け止めた上で、各種手当の改善、一時金獲得に向けて引き続き会社と交渉を展開していくことを確認しました。



共済担当者会議

4月13日(木)に米子コンベンションセンターにて共済担当者会議を開催しました。明治安田生命から近藤主任をお越しいただき、家族支援共済を中心とした共済への契約の取組、各支部・分会の担当者、職員と確認を行いました。

